

mysterious,
strange, dark



そんな斎藤清を見てみませんか。

どこかミステリアス、よく見るとこわい。

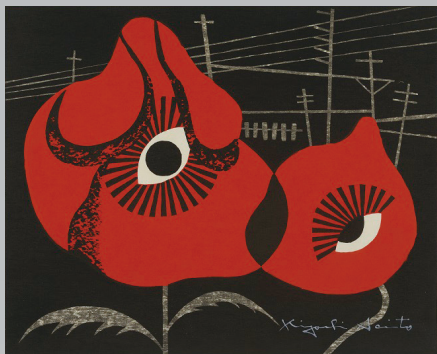
斎藤清 異形のイメージ

2021. 7/3^{sat.} - 9/5^{sun.} 9:00~16:30(入館は16:00まで)
月曜日休館(8/9は開館、翌8/10休館)

【観覧料】一般510円(410円) 高校・大学生300円(200円) 中学生以下 無料 ※()内は15名以上の団体料金

■主催: 斎藤清美術館 ■後援: 福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、エフエム会津、喜多方シティエフエム、只見川電源流域振興協議会、奥会津五町村活性化協議会、只見川ライン観光協会、極上の会津プロジェクト協議会

斎藤清美術館
KIYOSHI SAITO MUSEUM OF ART, YANAIZU



「視線」に抱く、
普遍的な不安



青い水面にうごめく影は…

日常の中に
ひそむ、
異界の気配

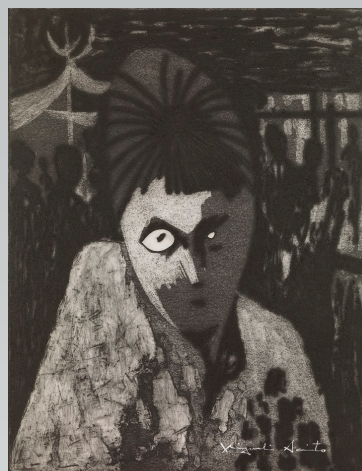


タイトルを知ったとき、この作品の
本当の姿に慄然とする

死を超えて、生がある
美しき風景が語る、この世の真実



瞳に宿るは、自由への渴望と闘志



そこは、マイノリティの聖地

古くから人は、「美しいもの」に対するのと同じくらい強く、「恐ろしいもの」「怪しいもの」「不気味なもの」に魅せられてきました。芸術家もまた然り。むしろ、常人以上の鋭い感性とまなざしで、現実世界とそこに存在するものたちが内に潜ませている異界や異形の気配を捉え、様々な芸術作品へと昇華させてきました。それらが人々の心を惹きつけてやまないのは、恐ろしいものの中にこそ、この世の真実が語られていると感じるからかもしれません。

モダンリアリスト・斎藤清の作品にも、不思議な、よく見るとただならぬ雰囲気を持つものが少なからず存在します。斎藤は、常に現実の事物を題材とし、スケッチを重ねた上で、余計な要素をそぎ落とした簡潔なフォルムで対象を表します。抽象的でありながら、見るものに明快にイメージが伝わるのは、対象の本質をしっかりと捉えているから。一方で、若き日にはルドンやムンク、ゴッゲンといった西欧近代絵画の巨匠たちに深い共感を覚え、創作上のスランプに陥った60年代には内向的・哲学的なテーマにも取り組んでいた斎藤。そんなまなざしと感性を持つ画家が、対象の中に潜む名状しがたい「何か」を敏感に感じ取り、さらにそれを描出したいと思ったのは、必然といえるのではないのでしょうか。

初期のすぐ分かる謎めいたイメージから、一見ごく普通のモチーフが垣間見せる異形の姿、美しい風景の中にひそむ不穏な気配…いつもとはひと味もふた味も異なる斎藤清の絵画世界を体験してみませんか。

■表面《アネモネ》1963年 紙、木版 ■裏面（左上）《赤い花》1940年代後半頃 紙、木版（左下）《青沼 裏巻 梯 会津》1955年 紙、木版（中央）《目(16)》1984年 紙、木版（右上）《稔りの会津(9)》1988年 紙、木版（右下）《グリニッジビルッジ》1962年 紙、コラグラフ

Activity

参加される場合は、観覧券が必要です。

■ギャラリートーク

学芸員が本展の見どころを分かりやすく解説します。

日 時…会期中の第1・第3日曜日及び8/29(日) 14:00～(20分程度)

■ナイト・ミュージアム

夜の美術館で、いつもと違う鑑賞体験を。(学芸員による解説もあり)

日 時…7/17(土)・8/14(土) 18:30～19:30

各回10名 ※事前予約制。当日空きがある場合は、先着順で受入可。

Information

■館長講座「1937年大戦前夜－退廃美術展、パリ万博そしてピカソ《ゲルニカ》」

日 時…7/10(土) 14:00～15:30

■学芸員講座『『斎藤清 異形のイメージ』の見方、楽しみ方!』

日 時…8/21(土) 14:00～15:30

次回展予告

秋季特別企画展「(仮)斎藤清VSピカソ」
2021年9/18(土)～11/28(日)

■アクセス

☎ 東北道→磐越道→会津坂下I.C→R252を只見町方面へ5km
(道の駅 会津柳津内)

🚗 東京(東北新幹線)→郡山(磐越西線)→会津若松(只見線)→会津柳津

〒969-7201 福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙187

TEL:0241-42-3630

✉ bijutsu@town.yanaizu.fukushima.jp

斎藤清美術館

KIYOSHI SAITO MUSEUM OF ART, YANAIZU

